

建築CAD検定試験

2級 出題例

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題

1. 1階平面図をもとに1階の平面詳細図を縮尺1/50で作成せよ。
2. 各図面をもとに南立面図を縮尺1/50で作成せよ。

補足説明

1. 用紙サイズはA3判(横使い)とし、平面詳細図で1枚、南立面図で1枚の計2枚を使う。
2. 平面詳細図に記入するものは以下のとおりとする。
 - ・ 平面図(S=1/100)にある壁や建具および設備機器などの形状。
 - ・ 平面図にある寸法。ただし、建物内部に記入してある寸法は記入せず、壁の位置を示す寸法のみ記入すること。
 - ・ 平面図にある室名。
 - ・ テラスのハッチング(タテ・ヨコ間隔=100mm)
 - ・ 図面タイトル「1階平面詳細図 S=1/50」
3. 平面詳細図の図面密度は参考図程度とする。
 - ・ 各図面でサイズや寸法を指定していない部分は、適切と思われるサイズで描くこと。
4. 壁厚は構造体厚を100mm、仕上厚を25mm(両面で50mm)とし合計150mmとする。
5. サッシはアルミ製とし、見込み寸法は100mmとする。
6. 平面図のサッシ部に記入してあるH=1400(2100)の『1400』はサッシの高さで、()内の数値は床から測ったサッシ上端の高さである。W=1670はサッシの幅を示す。なおサッシの幅と高さは躯体の開口寸法である。
7. 立面図に関する注意事項を以下に記す。
 - ・ 立面図で必ず記入しなければならないものはGL(地盤線)、壁、建具、屋根、テラス、バルコニー。
 - ・ 樋は記入しない。
 - ・ 屋根の棟の包み金物は記入しない。
 - ・ 透視図を参考にして基礎に床下換気口(400W×150H)を描くこと。
 - ・ 寸法および屋根勾配は、記入しない。
 - ・ サッシの下枠が水切りを兼ねるものとする(水切りを別部材として描く必要はない)。
 - ・ 図面タイトル「南立面図 S=1/50」
8. 受験番号と氏名を、図面右下部分に入力すること。尚、2枚の図面両方に入力すること。
9. 平面詳細図と立面図の両方で建具(ドアやサッシなど)は線や長方形を用いて描く。すなわちシンボル・部品図形・自動作図、ブロック、ライブラリなどの使用を禁じる。
10. 平面詳細図と立面図のCADデータは別ファイルとする。
11. 保存ファイル名は、受験番号に平面詳細図:hei、立面図:rituを加えたものとする。(例:2020000hei,2020000ritu)
12. 監督者が指定するメディアに、解答図面データ(2ファイル)を保存し提出すること。尚、いずれか1つでも解答図面データが無い場合は、採点対象外とする。

以上

